

可能表現の使用に関する日中比較

伊藤 加奈子

キーワード：可能表現 助動詞 “可以” “能” 日中対照

1. 現実の出来事と可能表現

「可能」とは何に基づいて語られるのだろうか。たとえば未実現の事態について語られる「可能」もあれば、常識的な判断として語られる「可能」もある。

- ・你明天可以再来一趟吗？(あなたは明日もう一度来ることができますか？)
- ・这间屋子可以住四个人。この部屋は4人泊まることができる)

ヒトによる判断の一形態が「可能」であるならば、では現実起きた出来事について可能表現が用いられている場合、それは単なる実現済みの動作行為を述べる表現とどこが異なるのだろうか。次の例文を見られたい。

- 1) 日本名将高橋大輔，本次男子单人滑奖牌的有力争夺者。

高橋大輔拥有世界一流的滑行技术，他的滑行分可以滑到8.35。

(バンクーバーオリンピック・2010年2月16日フィギュアスケート男子シングルショートプログラム CCTV 中継解説より)

上の例文はバンクーバー五輪中継の解説音声書き起こしであるが、下線部文中に可能の助動詞“可以”が用いられている。この可能表現を生かしたまま日本語に訳すと、次のようになるだろう。

- 2) 日本の名選手高橋大輔，今大会フィギュアスケート男子シングルメダルの有力候補です。

?? 高橋は世界でも一流のスケーティング技術を有しており，スケーティングスキルの点数は8.35を出すことができます／できました。

中国語にはテンスの区別がないため「～できます／できました」と併記したが、どちらにしても日本語としてはかなり違和感がある。この「8.35」という数字は、2009年12月4日東京で開催されたフィギュアスケート・グランプリファイナルにおける、高橋選手のショートプログラムに対する実際の記録を指しており、その時点までの全試合ショートプログラムのスケーティングスキルを比較して見た中でパーソナルベストの点数^{注1}である。その事実を踏まえてより自然な日本語表現を探ると、次のようなものが考えられる。

- 3) 高橋は世界でも一流のスケーティング技術を有しており，スケーティングスキルの点数は8.35を出しています。

注1：高橋選手の得点記録・内容詳細については <http://deep-edge.net/segd.php?id=4810> で確認可能。「SS」がスケーティングスキルを指す。

4) 高橋は世界でも一流のスケーティング技術を有しており、スケーティングスキルの点数は8.35を出したことがあります。

日本語では可能表現を用いず、「～テイル／～シタコトガアル」で表すことが多いと考えられる。またその点数が出た時点・場所など、より具体的な情報を付加して後節で示すこともあるだろう。

5) 高橋は世界でも一流のスケーティング技術を有しており、昨年12月のグランプリファイナルではスケーティングスキルで8.35を出しています。

6) 高橋は世界でも一流のスケーティング技術を有しており、昨年12月のグランプリファイナルではスケーティングスキルで8.35を記録しています。

7) 高橋は世界でも一流のスケーティング技術を有しており、昨年12月のグランプリファイナルではスケーティングスキルで8.35を叩き出しています。

例文6) 7) ではスポーツの記録について述べる場面で多く使用される動詞「記録する」「叩き出す」を用い作例してみたが、可能表現の使用は動詞「出す」に比べ更に馴染みにくいと思われる。

ひるがえって、このような後節で可能表現を排除した形を中国語にした場合、次のような形になるだろう。

8) 高桥大辅拥有世界一流的滑行技术, 他的滑行分滑到8.35。

9) ?? 高桥大辅拥有世界一流的滑行技术, 他的滑行分滑到过8.35。

10) 高桥大辅拥有世界一流的滑冰技术, 他的滑行分在去年12月的大奖赛总决赛上滑到8.35。「～シタコトガアル」を経験相“-过”に置き換えた例文9) については、成立すると答えたインフォーマントと、即座にこの言い方は非文であると明確に反応したインフォーマントとに分かれ、成立度合いにばらつきがあったため便宜的に?? 表記をしている。例8) 10) のような言い方は成立するとのことだがニュアンスが幾分異なり、それは次節以降で考察する。

なお中国語には可能補語といった形式も存在するが、仮にこの場面に当てはめ使用した場合、これまた9) と同様成立度合いにばらつきが見られる。

11) ?? 高桥大辅拥有世界一流的滑行技术, 他的滑行分滑得到8.35。

このケースでは可能補語の使用が難しいようなので本論の考察対象からは除く。中国語の可能表現に関する研究では助動詞／可能補語との比較対照が多く見られるが、本論は少し視点を変え、可能表現そのものを使うか否かを中国語の助動詞“可以”を中心に日中対照を試みるものである。“可以”には大きく分けて「能力」「用途」「許可」「価値」といった用法があるが、ここでは「能力」について取り上げるものとする。

2. MAX を取り立てる “可以”

先ほどフィギュアスケートの得点について述べる場面を例に取り上げたが、すでに確定した記録に言及する別場面として、米メジャーリーガー・イチロー選手の子供時代のエピソードを紹介する中国語の文を挙げる。ここでも助動詞“可以”が用いられており、同時に「もう、すでに」の意味で実現済みの事態について多く用いられる副詞“已经”も文中に共起し

ている。

12) 豊山小学卒業之后进入当地的丰山中学就读。中学时期, 铃木一朗已经可以打到时速130公里的球。

例12) の可能表現を生かしたまま日本語に訳したのが13), そこから可能表現をはずしてみたのが14) 15) である。

13) 豊山小学校卒業後, 地元の豊山中学校に進学。中学時期, イチローはすでに时速130キロの球を打つことができた。

14) 豊山小学校卒業後, 地元の豊山中学校に進学。中学時期, イチローはすでに时速130キロの球を打っていた。

15) ? 豊山小学校卒業後, 地元の豊山中学校に進学。中学時期, イチローはすでに时速130キロの球を打った。

この場合13) も成立するが, 14) のような可能表現を使用しない形の方が日本語では多く見られると感じられる。

16) このイチロー選手の小さい頃の興味深い本を目にしました。読んでみました。

イチロー選手は, 幼稚園のときからプロ野球選手になる夢をもっていたそうです。小学校3年生のときから, お正月を除いて毎日バッティングセンターに親子で通い, すぐに时速100キロのスピードボールを打っていました。

6年生の終わりには时速120キロのボールを打っていましたが, そのバッティングセンターにはそれ以上速い球を投げるピッチングマシンがなく, 強力なバネを特別に注文してイチロー選手専用の機械をつくり, 时速130キロのボールを打っていました。そして, 中学生になるとプロのピッチャーが投げるような时速140キロのボールを簡単に打ち返したといひます。一日も休まず打ち続ける努力をしたわけです。

(東京都文京区立駒本小学校 HP ブログより, 2009年12月22日掲載佐藤明彦校長の言葉より)

17) 普通, 小学3・4年生は时速90キロ, 中学1・2年生は时速110キロの軟式ボールを叩く。ところがイチローは中学2年生のとき, 时速120キロを確実に打つ。そこで同センターは対イチロー対策として特別マシン时速130キロを用意した。それでもイチローは思いっきりボールを引っぱたく。ある日父親は途方もない話を切り出した。「なあ, イチローよ。これ以上速い投球機械はもうないよ。仕方がない。お前, 2メートルほど投球機械に近寄って打てよ」

イチロー選手の逸話について語る文章は非常に多いが, やはり可能表現を用いない形式が多く観察される。一方中国語においてであるが, 例12) から可能の助動詞“可以”を除いた次の例は, 文法的には成立するようだが幾分不自然さを感じるというインフォーマントの反応を得たものである。

18) ?? 豊山小学卒業之后进入当地的丰山中学就读。中学时期, 铃木一朗已经打到时速130公里的球。

インフォーマントが不自然と感じたその理由を問うと, 12) ではイチローが中学生時代に打った球の最高速度を卓越した記録として述べ立てているのに対し, 可能助動詞がない18) では単なる中学生時代に行った動作・事実を述べているだけであってそのエピソードの凄さが伝わりにくいということであった。日本語の13) 14) がどちらも成立し, 寧ろ可能表現を

使わない14) のような形が多用される傾向があり、且つ可能表現がなくともそこで述べられている中学生時代のイチロー選手の凄さは何ら損なわれていないことに注目したい。

もちろん中学時代のイチロー選手にしても常に時速130kmの球を打っていたわけではなく、あくまで「最高速度」を意味しているのであるが、最高・最大=MAXについて言及する場面では助動詞“可以”の使用がかなり目立っている。また“可以”と性格に近いとされる助動詞“能”“能够”の使用例もあり、それらを以下に挙げる。

19) 悬浮列车最高时速可以达到多少公里?

20) リニアモーターカーは最高時速何キロまで出すことができますか?

21) 悬浮列车最高时速达到多少公里?

22) リニアモーターカーは最高時速何キロまで出ますか?

23) 上海的磁悬浮列车每小时可以达到450公里。一般时速为380公里。由于他是建造在农郊的高架上，噪音忽略了。高速时达到340-430公里，其噪音比较小，相当于只有以人大声说话。

24) 上海のリニアモーターカーは時速450kmに達することができます。通常の時速は380kmです。リニアが農村の高架に建造されたことにより、騒音は気にならないものとなりました。高速運行では時速340-430kmに達し、その騒音は比較的小さく、人が大声で会話をする程度です。

25) 上海的磁悬浮列车每小时达到450公里。

26) 上海のリニアモーターカーは時速450キロに達します

27) 兔子每小时可以行多少公里? ——兔子每小时最快可以行36公里。

28) ウサギは1時間に何km進むことができますか? ——ウサギは最も速くて時速36kmで進むことができます。

29) 兔子每小时行多少公里? ——兔子每小时最快行36公里。

30) ウサギは1時間に何km進みますか? ——ウサギは最も速くて時速36kmで進みます。

31) 每小时行走五公里能够消耗多少热量?

32) 1時間に5km歩いたらどれぐらいのカロリーを消費できますか?

33) 每小时行走五公里消耗多少热量?

34) 1時間に5km歩いたらどれぐらいのカロリーを消費しますか?

35) 自行车一般一个小时能行多少公里? 我所说的正常，就是普通自行车，以正常听速度骑法，因为我想骑自行车去上班。

36) 自転車は普通1時間に何キロ進むことができますか? 私が言っているのは正常な、つまり普通の(補足:レーシング仕様などではない)自転車です。普通でと速さ・乗り方を尋ねているのは、自転車で通勤したいからです。

37) 自行车一般一个小时行多少公里?

38) 自転車は普通1時間に何キロ進みますか?

39) 自自行车最高车速可以达到多少公里? ——普通自行车10-15公里/小时，如果是好点的车子，带变速的，速度又能达到20以上。50-60公里的都是狂人啊!佩服。我觉得10-15公里比较符合实际。普通路面赛车运动员可以轻松骑至50公里/小时，最高时速也可达到60-70公里。

40) 自転車は最高時速何km出せますか? ——普通の自転車は10-15km/h，若しもう少し良

い自転車で、変速ギアがついているならば、速度は時速20km以上出すことができる。時速50-60kmはもう狂人だ！すごいと思う。時速10-15kmが現実に合わせていると思う。一般道路では自転車レーサーは軽く50km/h出すことができ、最高時速は60-70kmになる（出せる）。

下線を引いて可能助動詞を示した例文19) 23) 27) 31) 35) 39) が実際に存在する中国語の例文であり、それぞれの後に続いているのが日本語訳と可能助動詞をはずした中国語作例である。どれも成立には問題はないが、やはり“可以”などが用いられている方が、例えばウサギの走る速さを尋ねる場面でも普通にぴよんぴよん跳びはねているウサギではなく、捕食者に追われ必死になって走っているようなウサギの最高速度を問うているイメージをより強く持つようである。

これらに対し、MAXといった概念と相性が悪い場面ではどのようなことが言えるだろうか。

41) 快走一小时消耗多少热量？——坚持快走一小时左右，每次活动能量消耗为300千卡左右。

42) 1時間早足で歩くとどれだけカロリー消費しますか？——1時間程度早足が続けると、活動エネルギーは約300カロリー消費されます。

43) 快走2時能消耗多少热量？——坚持快走2小时左右，每次活动能量消耗为600千卡左右。

44) 2時間早足で歩くとどれだけカロリー消費できますか？——2時間ほど早足で歩くのを続けると、活動エネルギーは600キロカロリーぐらいを消費します。

例41)と43)は《天涯问答》^{注2}という質問・回答を集めたHPからの引用である。文中に用いられている数字・単位の違いはあれ、内容はどちらも似たようなものである。いずれも成立には問題ないが、インフォーマントの語感によると41)では消費されるカロリーの「平均」を尋ねているというニュアンスが強いということである。先ほど挙げた“可以”などの可能表現がMAXを取り上げているのと、言わば反対のベクトルである。「ヒトが○時間歩いた消費カロリーはどれぐらい？」と尋ねる場合は可能表現があってもなくても成立に問題ないようだが、同じように消費カロリーに言及している場面でも可能表現を入れると違和感が生じる例が以下である。

45) 睡觉8小时大概消耗多少热量呢？

46) 8時間睡眠をとるとおよそどれぐらいエネルギーを消費しますか？

47) ?睡觉8小时大概可以消耗多少热量呢？

48) ?8時間睡眠をとるとおよそどれぐらいエネルギーを消費できますか？

例45)が実際に存在する中国語の文であるが、“可以”を付加した47)は違和感があるというのがインフォーマントの反応である。ヒトの睡眠中における消費カロリーは、運動とは異なり、個々人の身体能力によってさほどばらつきが出ない平均的なイメージがあることから、MAXを指向する可能助動詞は相性が悪いようである。また日本語においても46)は問題ないが、48)については「睡眠中までも必死にダイエットしようとしている」といった違和感がある。但し日本語と中国語で共に可能表現利用により文成立に違和感があるとしても、その原因は異なるところに由来する可能性がある。更に別の例を見てみよう。

注2 : <http://wenda.tianya.cn/wenda>

- 49) 人静坐每小时可消耗多少热量?^{注3}
 50) ?人静坐每小时可以消耗多少热量?
 51) 人静坐每小时消耗多少热量?

例49) では“可”が用いられておりこれは許容されるようであるが、“可以”に換えた50) では成立しにくいとインフォーマントは感じるようである。なお可能表現を用いない51) は成立に問題ない。これを日本語にした場合、睡眠中の消費カロリーについて述べる46) 48) と同じく、可能表現を使用したものには若干成立しにくい感覚がある。52) ヒトが静かに座っていると1時間にどれだけカロリー消費しますか? 53) ?ヒトが静かに座っていると1時間にどれだけカロリー消費できますか?

3. 普通ではない“可以”

前節では「MAX という概念」と助動詞“可以”を中心とする可能表現との関わりを見てきたが、ではその枠に留まらないと思われる例ではどのようなことが言えるだろうか。

- 54) 官湖郡の绿化真的可以达到61.2%吗?我严重怀疑哦,这么高的绿化率看起来是挺吸引人的,拜托开发商不要再忽悠广大业主^{注4}了,说点真话吧?
 55) ?官湖郡の绿化は本当に61.2%にまで達することができたの? 私は非常に疑わしく思ってる, こんなにも高い绿化率は見たところとても人を惹き付けるけど, 開発会社にはもうマンションの所有者を騙さないで欲しいと思う, 本当のことを話せば?
 56) 官湖郡の绿化は本当に61.2%にまで達しているの?

例文54) は2009-12-08のタイムスタンプが残るネット上の書き込みであるが、これは同年11月に発表された官湖郡不動産の広告ニュースを見て、それが疑わしいという思いを抱いた人物による指摘である。

参考：武汉东合置业有限公司营销总监徐薇燕介绍，官湖郡总建筑面积约12万平方米，三面环17000亩后官湖，享千米私家湖岸线；· ·中略· ·此外整个小区绿化率高达61.2%，四季皆有风情。<タイムスタンプは2009-11-09である>

(日本語訳：武漢東合不動産有限会社のマーケティング総監・徐薇燕が紹介するところによると、官湖郡の総建築面積は12万平方メートルで、三面を17,000ムールの後官湖に囲まれ、千メートルのプライベートビーチを享受しています。· ·中略· ·この他にも全ての小区域の绿化率は61.2%に達しており、四季には折々の風情があります)

54) はすでに公表済みの绿化指数について言及している例である。数値が非常に高いという意味合いでは“可以”がMAXを示す傾向と矛盾していない。そして可能表現を残して日本語に訳した55) は若干自然さに欠け、可能表現をはずし「～テイル」を用いた56) の方

注3：採取した原文は“人静坐每小时可消耗多少大卡热量”であり、数量に関する疑問表現“多少大”／熱量をあらわす“卡热量”，この部分が言わば語彙が重複した形になってしまっており、きちんとした中国語ではない。末尾も“?”など句読点の類を使っていないことから、あまり言葉に拘りを持たない人物が書いたものと推察できる。重複部分を整理しインフォーマントチェックを経たものが例49) である。

注4：“业主”とは家屋・不動産等の持ち主を指す語であり、よく“广大业主”といった組み合わせで用いられる。

は自然な語感を有すると思われる。

一方、中国語の原文から用いられている助動詞“可以”を除いてしまうとこれはかなり成立が難しくなり、完了のアスペクト助詞“-了”が必要だというのがインフォーマントの回答であった。

57) *官湖郡の绿化真的达到61.2%吗?

58) 官湖郡の绿化真的达到了61.2%吗?

複数のインフォーマントからは、例54)は助動詞“可以”があることでこの緑化指数が「普通でない」ことを示しているという共通した反応が得られた。実際「普通でない」と感じ取られたからこそ、件の不動産開発会社についてこのような強い疑念を表明する書き込みにつながっていると考えられる。

次に挙げるのは、とある高等専門学校区域の就職率について述べているレポートであるが、鋭い語感を持つ複数の中国語ネイティブスピーカーから原文そのものがややおかしいのではないかという指摘を受けた例である。

59) ? 常州高职园区首次就业率可以达到98%

常州高职园区在发展过程当中确立了比较好的定位——培养既有文化知识，又有很强动手能力的学生。这样的话他们到了社会以后就会很受欢迎，所以这几年我们的就业率都是很高的，都是100%，首次就业率可以达到98%，5所高职院校就业率进入江苏省前十名。

60) 常州高等専門学校区域の初回就職率が98%に達することができた

常州高等専門学校区域は発展過程において比較的良いレベル—教養と知識を身につけ、また即戦力となる能力を備えた学生の育成—を確立した。このことは学生たちが社会に出てから歓迎を受けるだろうし、それ故にここ数年我々の区域の就職率は高く、全て100%であり、初回就職率は98%に達することができ、5つの高等専門学校の就職率は江蘇省のトップ10に入った。

61) 常州高等専門学校区域の初回就職率が98%に達した

常州高等専門学校区域は発展過程において比較的良いレベル—教養と知識を身につけ、また即戦力となる能力を備えた学生の育成—を確立した。このことは学生たちが社会に出てから歓迎を受けるだろうし、それ故にここ数年我々の区域の就職率は高く、全て100%であり、初回就職率は98%に達しており、5つの高等専門学校の就職率は江蘇省のトップ10に入った。

例59)では“常州高职园区首次就业率可以达到98% / 首次就业率可以达到98%”の“可以”がついていると逆に不自然であるというインフォーマントからの意見があったのだが、その理由は文中に用いられている“首次”＝「初回」にあるということである。「初回」に限定して就職率の数値を述べているということは、即ちその数値は1回のみ限定されたものであり、別の回での就職率数値を比較対象として設定していないということを意味する。しかしここで“可以”が入ってしまうと前節で述べた「MAXの概念＝他と比較してその中で最高のものを取り立てる」意味合いにより、この1回限定であるはずの「98%」という数値が「他と比較して、いつも出るとは限らない最高値」という矛盾した感覚でとらえられてしまうため、鋭い語感を持つタイプのネイティブスピーカーには文が成立しにくいと感じられるようである。

ちなみに第1節で取り上げたフィギュアスケート高橋選手の例であるが、スケートティング

スキル項目で「8.35」を記録した時間・場所といった特定する情報を付加すると、助動詞“可以”が使えなくなるようである。

- 10) 高桥大辅拥有世界一流的滑冰技术, 他的滑行分在去年12月的大奖赛总决赛上滑到8.35。
62) *高桥大辅拥有世界一流的滑冰技术, 他的滑行分在去年12月的大奖赛总决赛上可以滑到8.35。

つまり例59) から“可以”をはずしてやれば中国語の表現として問題ないものになるのだが、そもそも何故このような間違いが発生したのだろうか？ 仮説として考えられるのは、先に述べた“可以”が「普通ではない」という意味合いを伴い解釈される側面を持つことにより、自分たちの高等専門学校区域の優れた実績を強調し宣伝しようとしたあまり、1回限定の数値がまるで別の数値を比較してMAXであると述べ立てているような矛盾に陥ってしまったのではというものである。

ここまでは点数・速度・熱量・割合といった数値が関係する例文を主に取り上げたが、ではそれ以外の場合ではどのようなことが言えるだろうか。

- 63) (申雪 / 赵宏博) 和普通夫妻不同的是, 相识18载, 他们之间除了夫妻情分, 又是队员, 还是合作伙伴, 任何时刻都没有单打独斗的时刻。“我们拉手^{注4}的那一天起, 我可以把性命交给他。” 申雪说。如果做不到这样的信任, 就没有在冰上的收放自如, 两个人如同一体的默契。
64) (フィギュアスケートの申雪 / 趙宏博ペアが) 普通の夫婦と異なるのは, 知り合ってから18年, 彼らの間は夫婦という誼の外に, チームメイトであり, 協力する仲間であり, 如何なる時も独りで戦うことはなかった。「私たちが手を取ってペアのスケートティングを始めたあの日から, 私は命を彼に渡すことができました」と申雪は語る。もしこのような信頼が作り上げられなければ, 氷上での自在な動き, 二人がまるで一体であるかのような暗黙の了解は存在しないのだ。

例63) に登場している申雪選手の言葉であるが、原文の可能表現を残した形で日本語訳にしたのが64) である。しかし実はすでに、日本のフィギュアスケートファンの間では申 / 趙ペアの名言として、次のような翻訳にて知られている。

- 65) 両腕で彼女を抱きかかえる時に彼女を愛している演技をする必要はない。だって、本当に彼女を愛しているのだから。 趙宏博

彼の手を取って競技を始めたあの日から, 私の命は全て彼にゆだねてきた。 申雪

翻訳者不明で自然発生的に定着したものであり、この訳の原文とされるものが63) に見られる申雪選手の言葉と一言一句全く同一である確証は残念ながらない。しかし中国語では可能助動詞が用いられている文が存在し、一方日本語では可能表現を排した「～ゆだねてきた」という形が選ばれ、鴛鴦夫婦として知られる彼らの深い愛情を象徴する言葉としてファンの間で広まっている事実は興味深い。

「自分の命を他者に委ねる」行為は、たとえ家族であっても容易くできることではない。それをペアを組む相手として引き合わされて間もない赤の他人である男子選手に託すというのは「普通にできることではない」という意味合いが伴うことから、中国語では可能助動詞

注4: “拉手”とはフィギュアスケートのペア競技で、男女が互いに手をとったポジションでスケートティングをする基本動作を指す。

の使用が好まれると考えられる。この文から“可以”を除いた66)は成立せず、67)のように副詞“就”や完了の助詞“了”があれば文が成り立つということである。但しやはりそのニュアンスは“可以”の有無で異なり、67)では単なる事実を述べる文であり、「普通ではない」意味合いは感じられない。

66) *我们拉手的那一天起, 我把性命交给他。

67) 我们拉手的那一天起, 我就把性命交给了他。

では「普通ではない」と物事を認識する場面として、「感服する、すごいことだと感じ入る」という意味の中国語の動詞“佩服”を利用して、それに後続する文成分に可能表現が使われる例とそうでないものを見てみよう。

68) N久以前_{註5}的帖子, 真佩服自己当时可以写这么长。

69) ? N久以前的帖子, 真佩服自己当时写这么长。

70) N久以前的帖子, 真佩服自己当时写了这么长。

71) ずいぶん前の(補足: ネット掲示板の)書き込み, 自分が当時こんなに(文章を)長く書くことができたなんて本当に感心するよ。

72) ずいぶん前の書き込み, 自分が当時こんなに長く書いていたなんて本当に感心するよ。

可能助動詞“可以”が用いられている例68)では「今はとてもできない」という、現在の状況と比較するニュアンスが強いということである。69) 70)のように“可以”を排した形も成立はするが、現在と比較するという意味はないというのがインフォーマントの反応である。一方日本語に訳した71)と72)はどちらも問題なく成立し、中国語のように可能助動詞の有無が比較のニュアンスを帯びるかどうかを決定するという現象は見られない。日本語例文72)についても、「今は到底無理だけど、自分が当時こんなに長く書いていたなんて～」と、自らの現状と比較するニュアンスを込めて発話することができるだろう。

73) 甜心MM的自拍, 佩服人家妈妈可以生出这么漂亮的女儿

74) スイートハートMMが自分で撮影した画像, うちのお母さんがこんなに可愛い娘(補足: 自分のことを指している)を産むことができたなんてすごいと思う

75) 佩服人家妈妈生出这么漂亮的女儿

76) うちのお母さんがこんなに可愛い娘を産んだなんてすごいと思う

例73)は、容姿に自信のある少女が街中でいろんなファッションに身を包んだ自分の姿を自ら撮影し、ネット掲示板に画像をアップロードして紹介している場面で添えられていた言葉である(“甜心MM=妹妹”がネット上における彼女のハンドルである)。ここでは“可以”が用いられていることにより、「こんなに可愛い娘は普通そこらへんにはいないよ!」と、その並みではない際立ったさまを比較し強調する語感につながるということである。

77) 钱学森特别佩服能跟美国对着干的毛泽东

“钱先生跟别人不一样, 他有严重的反美情绪, 所以特别佩服能跟美国对着干的毛泽东。”
——钱学森先生的第一任秘书张可文

78) 钱学森是特にアメリカと張り合うことができた毛沢東に感服していた

註5: “N”は、ネット上の若者言葉で程度副詞“很”や“好”などの代わりに用いられる。代数での用法に由来すると言われる。

「銭氏は他の人とは違い、彼は強い反米感情を持っていて、そのことでアメリカと張り合うことができた毛沢東には特に感服していました」——銭学森氏の第一秘書・張可文

79) 銭学森特別佩服跟美国对着干的毛泽东

“钱先生跟别人不一样，他有严重的反美情绪，所以特别佩服跟美国对着干的毛泽东。”

80) 銭学森は特にアメリカと張り合った毛沢東に感服していた

「銭氏は他の人とは違い、彼は強い反米感情を持っていて、そのことで特にアメリカと張り合った毛沢東には感服していました」

例77) では助動詞“能”が使用されているが、“可以”同様比較の意味合いがあるとのこと。可能表現をはずした79)も成立するが、特にこの場合においては「世界の超大国であるアメリカ」を相手にしたという、並みの国ではないその相手の強大さを印象付ける効果を可能助動詞が有しているというのがインフォーマントの感想である。

81) 真的不得不佩服能花一个下午做头发的MM

82) ?? 午後の時間丸々使って髪の毛をセットできる女の子って本当にすごいと思わざるを得ない

83) 真的不得不佩服花一个下午做头发的MM

84) 午後の時間丸々使って髪の毛をセットする女の子って本当にすごいと思わざるを得ない

例81) 83) もどちらも成立するが、やはり“能”が使用されている81)は「午後の時間全てを髪の毛ごときに費やすだなんて普通ではない」というニュアンスが強く込められる。ここまで取り上げた“佩服”が関わる例文では、「比較の意味合い・普通ではない」ニュアンスの有無の違いこそあれ、可能助動詞があってもなくても文成立はするというものばかりだったが、次のようなやや成立度合いに差が生じる例も存在する。

85) 看了满城尽带黄金甲的MV，佩服周杰伦可以这样弹古筝，满地都是菊花，杰伦也会弹古筝！！！！

86) <满城尽带黄金甲的> (日本語タイトル：王妃の紋章) のミュージックビデオを見た、周杰倫が箏をこんなに弾けるなんてすごいと思ったよ、一面菊の花が敷き詰めてあって、杰倫は箏も弾くこともできるんだよ！！

87) ?? 看了满城尽带黄金甲的MV，佩服周杰伦这样弹古筝，满地都是菊花，杰伦也会弹古筝！！！！

88) ? <满城尽带黄金甲的> のミュージックビデオを見た、周杰倫が箏をこんなに弾いてるなんてすごいと思ったよ、一面菊の花が敷き詰めてあって、杰倫は箏も弾くこともできるんだよ！！

89) <满城尽带黄金甲的> のミュージックビデオを見た、周杰倫が箏を弾いてるなんてすごいと思ったよ、一面菊の花が敷き詰めてあって、杰倫は箏も弾くこともできるんだよ！！

例87) では“可以”を取り去ってしまうとかなり言い難いという反応を複数のインフォーマントが揃って示した。その理由はと問うとそれぞれが異なる答え方をしたが、中で「とても意外なことだと驚いている，“居然”の感覚に近い」と答えるインフォーマントがいた。原文85) 文末に用いられている感嘆符の数からわかるように、この文を作った人物はかなり興奮した状態にあるのは確かである。その非常に強い興奮・驚きを齎した周杰倫の箏が「普通でない」と取り立てる語感を強く求めることにより、可能助動詞の使用に傾くのではない

かと推察する。

日本語例については「こんなに」を文中に持つ88)は若干不自然さがあるが、89)「周杰倫が箏を弾いているなんてすごいと思った」は成立に問題ないだろう。また可能表現を持つ86)に比べても、中国語のようなニュアンスの違いは生じないと思われる。

4. 最低限レベルの“可以”

第2節で、“可以”と副詞“已经”が共起しているイチロー選手の例文12)を取り上げたが、それでは「すでもう～できた」と実現済みの事態を述べる他の例を見てみよう。

90) 克林顿心脏“搭桥”手术顺利 已经可以开口说话

美国前总统克林顿的办公室7日发表声明说, 刚刚进行完心脏“搭桥”手术的克林顿恢复得很顺利, 他目前神志完全清醒, 并且已经可以开口说话。

91) クリントンの心臓「バイパス」手術は順調 すでに会話も可能に

アメリカのクリントン前大統領の事務方が7日発表したところによると, 心臓のバイパス手術を終えたばかりのクリントン前大統領の回復は順調で, 現在意識がはっきりしており, すでに会話もできるとのことです。

92) ? 他目前神志完全清醒, 并且已经开口说话。

93) 彼は現在意識がはっきりしており, すでに会話もしているとのことです。

例90)はクリントン元大統領の心臓手術を伝えるニュースからである。可能表現のない92)と比較すると「かろうじて～できるようになった」という語気を帯びるとするのがインフォーマントの回答で, 92)は非文とまではいかないが若干使いにくいと感じるとのこと。一方日本語では91)93)ともに成立に問題なく, ニュース文面では寧ろ可能表現を用いない93)のような言い方が多いのではと思われる。

94) 在在2009年11月, 科伦纳-阿祖布克接受了膝盖修复手术。在新赛季训练营开始之初, 他曾表示将在常规赛揭幕战复出。但这一计划似乎推迟。据纽约尼克斯主教练迈克-丹东尼表示, 阿祖布克近期不可能参加比赛。他甚至说, 如果阿祖布克再伤停两个月, 那他也不会感到惊讶。在过去两个周, 阿祖布克已经可以跑步, 但还不能参加全部训练。

95) 2009年11月, ケレンナ・アズバイクは膝の修復手術を受けた。新しいシーズンのトレーニングを始めた当初は, 彼は開幕戦復帰を表明していた。しかしこのプランは遅延する模様だ。ニューヨークニックスのマイク・ダントーニヘッドコーチによると, アズバイクはここしばらくは試合に参加できないとのこと。ダントーニは, もしアズバイクが2ヶ月間怪我で出場できなくても, 驚きはないとまで語った。過去2週間, アズバイクはすでにランニングができるが, しかしまだ全てのトレーニングに参加はできていない。

96) 在过去两个周, 阿祖布克已经跑步, 但还不能参加全部训练。

97) 過去2週間, アズバイクはすでにランニングをしているが, しかしまだ全てのトレーニングに参加できていない。

98) 在过去两个周, 阿祖布克已经开始跑步, 但还不能参加全部训练。

99) 過去2週間, アズバイクはすでにランニングを始めているが, しかしまだ全てのトレーニングに参加できていない。

100) 在(菲律宾马尼拉)人质事件中, 易小玲遭子弹穿过下颚, 导致骨裂及口腔受损, 返港后一直在沙田韦尔斯亲王医院接受治疗。院方发言人表示, 易小玲接受治疗后情况稳定, 已经可以进食, 说话, 且行动自如, 并于昨晨出院。

101) (フィリピンマニラでの香港人) 人質事件で, 易小玲さんは下顎に銃弾が貫通する怪我を負い, 骨の断裂と口腔組織の損失に至り, 香港に戻ってからは沙田のプリンス・オブ・ウェールズ病院で治療を受けていた。病院側スポークスマンによると, 易小玲さんは治療を受けてから状況が安定しており, すでに食事や会話も可能で, 思い通りに行動しており, 昨日朝退院したということである。

102) 易小玲接受治疗后情况稳定, 已经进食, 说话, 且行动自如, 并于昨晨出院。

103) 易小玲さんは治療を受けてから状況が安定しており, すでに食事や会話もしており, 思い通りに行動しており, 昨日朝退院したということである。

ここに挙げたNBA ニューヨークニックスのアズバイク選手とフィリピン香港人々人質事件のニュースであるが, “可以” が用いられている94) アズバイク選手にとっての「ランニング」と, 100) 人質事件負傷者の「食事と会話」は, 「試合復帰に必要な他のハードなトレーニング/自分の思い通りにやる様々な行動」と比し, 「最低レベルのことができるようになった」という語感を持つとのことである。

クリントン元大統領からフィリピン香港人々人質事件まで, いずれも誰かが医療行為を経て回復を見せていると伝える場面なのだが, 「やっとなることができるようになった最低レベルの行為」という語感第2節で取り上げた「最高値, MAX」, また第3節「並外れた, 普通ではない」意味合いとは逆の方向にあると一見感じられる。^{注6} この相反する性質を合理的に統括し説明する言葉を未だ持たないが, 最高であれ最低であれ少なくとも比較する他項目の存在を設定しているという前提があるのは共通していると考えられる。

なお体調不良で入退院を伝えるニュースにおいて助動詞“能”が使われているケースもあるが, これは「失われた能力を回復する」意味合いであり, “可以”の例文90) 94) 100) とは指向するものがやや異なるようである。

104) 亚洲第一胖男子已经能下地活动 胃口大开

经过新桥医院连日来的精心治疗, 备受市民关注的“亚洲第一胖”梁用的病情趋于稳定, 昨日已能下地活动, 且胃口大开, 将三四两米饭一扫而光。

105) アジアで一番太った男がすでにベッドから下りて活動できるように 食欲も旺盛

新橋病院の連日の心を込めた治療を経て, 市民の注目の的となっていた「アジアで一番太い人」梁用さんの病状は安定に向かい, 昨日はベッドから降りて活動できるようになり, 食欲も旺盛で, 150~200gのご飯はあつという間に平らげています。

106) 亚洲第一胖男子已经下地活动 胃口大开

经过新桥医院连日来的精心治疗, 备受市民关注的“亚洲第一胖”梁用的病情趋于稳定, 昨

注6: 例えば “他就要了三张票, 没多要” (=彼は3枚だけチケットを求め, 多くは欲しがらなかった) と “他就要了三张票, 没剩几张了” (=彼一人で3枚もチケットを求めたものだから, もう何枚も残っていない) のように, 同じ副詞“就”が数量の少ない場合・多い場合に用いられる例がある。このケースはストレスの置き方が関与する別の文法形式であるからして単純に同一視はできないが, 一見逆の方向性を持つように感じられる意味合いが同じ語で示される例は珍しくない。

日已下地活动，且胃口大开，将三四两米饭一扫而光。

107) アジアで一番太った男がすでにベッドから下りて活動する 食欲も旺盛

新橋病院の連日の手厚い治療を経て，市民の注目的となっていた「アジアで一番太い人」梁用さんの病状は安定に向かい，昨日はベッドから降りて活動しており，食欲も旺盛で，150～200gのご飯はあつという間に平らげています。

インフォーマントの語感によると原文(104)より寧ろ，助動詞“能”をはずした(106)の方が言いやすいのではないかという意見もあり，“能”と“可以”が一致する語感を持つ「普通でない」とはこの点でも異なる振る舞いを見せていると思われる。

5. 中国語と日本語，その可能表現の使用に見られる違い

以上，中国語の助動詞“可以”を中心に実現済みの事態に可能表現が関わる例を中国語・日本語を対照する形で見てきたが，“可以”については比較義を伴うという感覚が非常に強く，「最高・最大，MAX」を示したり，「普通ではない」と述べたてる効果があることがわかる。

具体的な例として改めて第1節に取り上げたフィギュアスケート高橋選手のスケーティングスキルを述べる例に戻ると，中国語で“他的滑行分可以滑到8.35”と述べた場合は，下表で白抜き・太字表示部分+網掛け・細字表示されている点数全てを前提として踏まえつつ比較し最高得点としてその技術の高さを称えていることになるが，“他的滑行分滑到8.35”では表の網掛け部分は思考の枠外に置かれてしまい白抜き・太字箇所のみを単なる動作行為として述べている文となる。ここでは便宜的に表形式をとったが，ヒトが何らかの事態について中国語で表出する場合において可能助動詞“可以”や“能”を用いるか否かには，いわば表全体を視野に入れるか，それとも表中の一行だけに焦点を当てて見つめるかという異なる態度が反映されているのではないだろうか。

フィギュアスケートの大会（年・月）	スケーティングスキル項目の得点
グランプリファイナル（2009年12月）	8.35
スケートカナダ（2009年11月）	7.55
NHK杯（2009年11月）	7.90
フィンランディア杯（2009年10月）	7.96
：	：
スケートカナダ（2003年10月）	7.15

そして日本語においてはこのような中国語方式の視野切り替えは存在しないように思われる。「スケーティングスキルの点数は8.35を出しています」と述べた場合，可能表現は含まれていないわけだが，それまでの高橋選手の戦歴における最高得点をピックアップするという作業を経ているわけで，それは即ち比較対象となる項目の存在を前提としているに他ならない。また先に述べたように「スケーティングスキルの点数は8.35を出すことができました」は，この競技中継解説場面では使用しにくいという事実がある。

例えば下のような子供の作文を設定してみた場合、

・僕は昨日算数のテストで90点取ることができました。なので、お父さんとの前からの約束どおり、欲しかったゲームを買ってもらいました。〈筆者による作例〉

この文は「ゲームを買ってもらえる約束の点数をついにクリアした」という意味合いであり、1ヶ月前の算数のテストではどうだったか、半年前のテストの点数はどうだったかという比較の概念は働いていないと見なすのが妥当だろう。

渋谷1986は日本語可能表現を以下のように分類している。

・動作主可能

①条件可能

能力可能

内的条件可能

外的条件可能

②結果可能<動作の実現が可能・不可能である、あったことを表す。肯定形の場合には「ドーナカ最後マデヤッタ」の意を表す

(「途中で何度もやめようとは思ったが、最後まで完走できた」)。

・自発(経験者可能)

・認識の可能

本論で取り上げた中国語の助動詞“可以”を中心とする諸々の例文は、どれも現実に起きた出来事に関して言及しているものであり、つまり「あったこと」に根ざしているのであるが、「ドーナカ最後マデヤッタ」の意と合致しないものについては日本語で可能表現の使用が回避されるようである。

今回の中国語と日本語の比較対照において、“可以”等を持たない中国語の例で、「MAX／普通でない／最低限 etc.」といった比較義ニュアンスを持つことができず『単なる動作行為』を述べているだけと見なされ、前後のつながりに合致せず成立し難くなるという現象が確認された。それは目的語などといった他の文成分はそのままであるにも関わらず発生している現象であるため、中国語における目的語等文成分は、先ほど表形式で仮説として述べた視野の切り替えに影響を及ぼすことができない(あくまで鍵となるのは動詞を核として付随する可能助動詞等の文法形式)のではないだろうか。

また文を組み立てる方向性にしても、中国語は比較義を持たせることを優先するケースが目立つのに対し、日本語では例えば時間・場所といった情報を付与することにより特定の事実に絞り込んで述べ立てをしようとする傾向が強い、特にスポーツ実況解説やニュース文面においてはよりそれが顕著だと感じられる。

6) 高橋は世界でも一流のスケート技術を有しており、昨年12月のグランプリファイナルではスケートスキルで8.35を記録しています。

93) 彼(手術を終えたばかりのクリントン前大統領)は現在意識がはっきりしており、すでに会話もしているとのこと。

93) 彼(手術を終えたばかりのクリントン前大統領)は現在意識がはっきりしており、すでに一般病棟で家族と会話もしているとのこと。

可能表現等を用いない『単なる動作行為』とはそもそも何なのか。その実体を捉えること

は困難ではあるが、単なる動作行為であることを理由に文成立に影響があるケースの分析からそれに近づくことができる可能性があるのではと考えるものである。

【参考文献】

《現代漢語八百詞增訂本》呂叔湘主編 商務印書館1999

《新編漢語多功能詞典》馮志純 周行健主編 國際文化出版公司1989

《現代漢語常用詞用法詞典》李憶民主編 北京語言學院出版社1995

『現代中國語における可能表現の意味分析—可能補語を中心に』安本真弓 白帝社2009

渋谷勝己「可能表現の発展・素描」『大阪大学日本学報5』1986引用

(2010年10月31日受理, 11月18日掲載承認)